

# 今後の天候について

## 2016/7/21

株式会社ウェザーマップ

107-0052 東京都港区赤坂5-4-9 いちご赤坂五丁目ビル6F

TEL:03-3224-1785/FAX:03-3224-1786

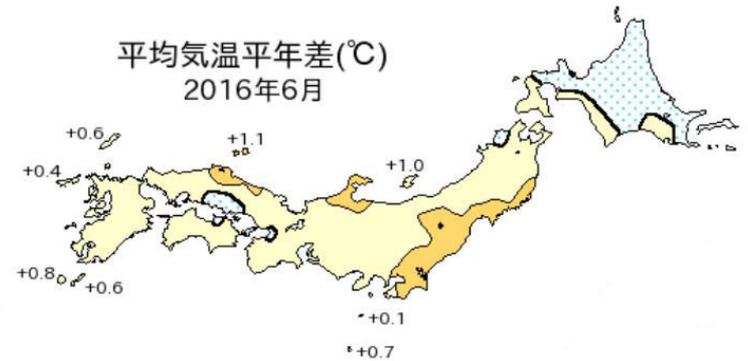
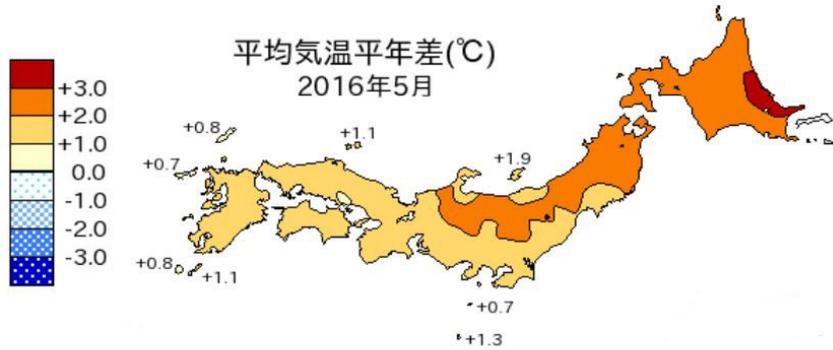
<http://www.weathermap.co.jp/>



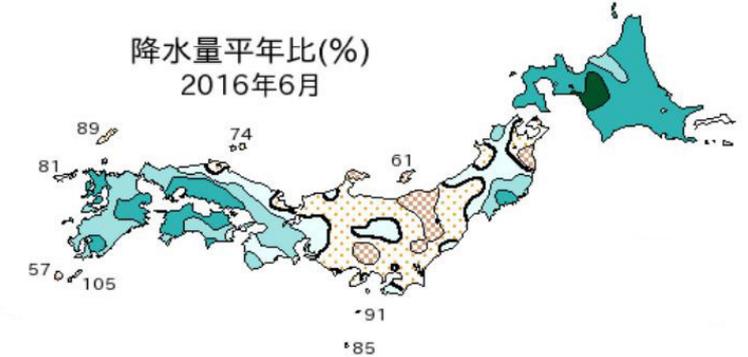
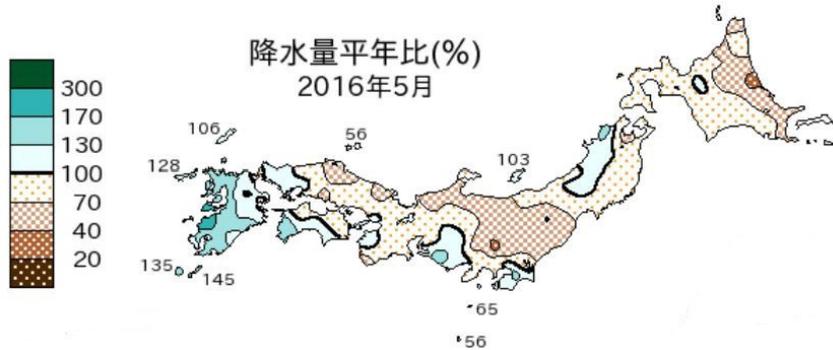


# 5月から6月の天候

【気温】 北日本中心の高温傾向は収まり北海道の6月は低温傾向。

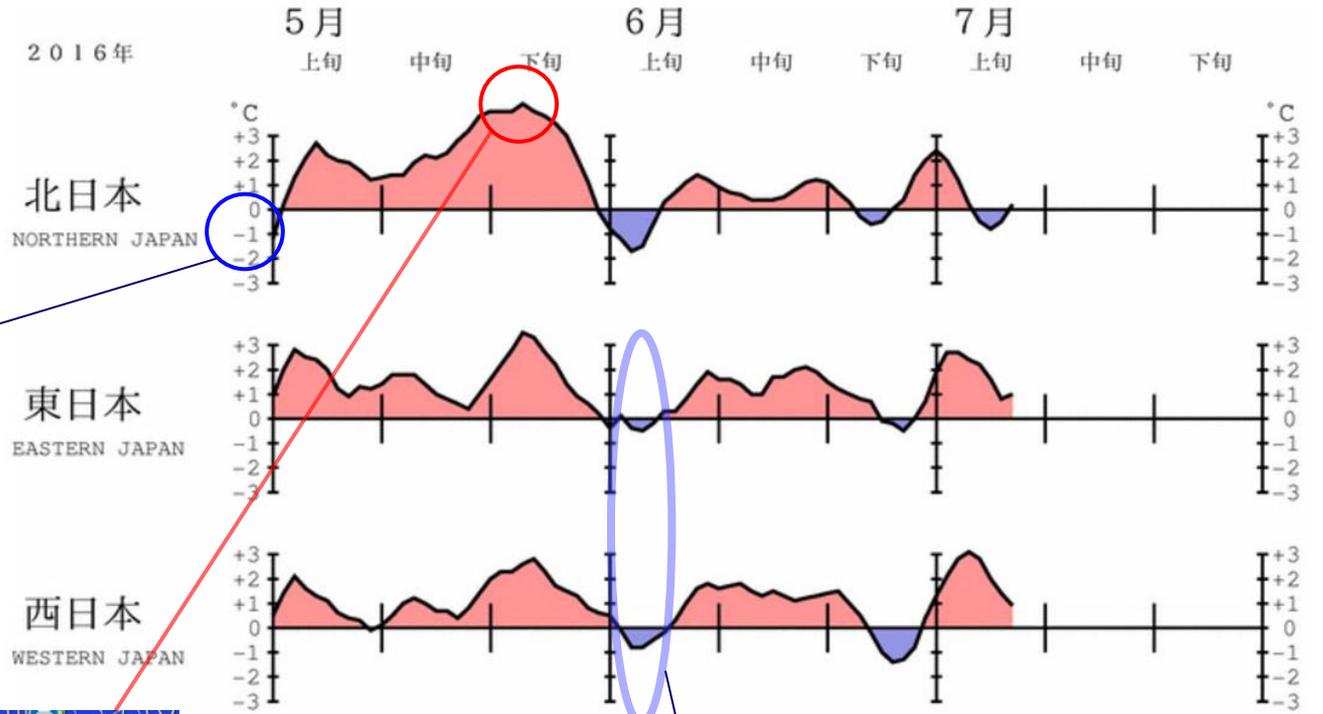
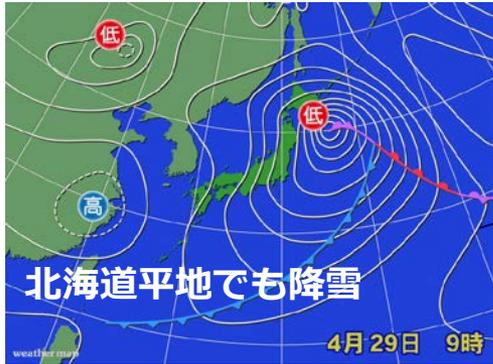


【降水量】 西・北日本では降水量多くなる。東日本では少雨傾向





# 気温経過 (地域平均気温平年偏差の5日移動平均時系列)



TIME SERIES OF 5-DAY RUNNING MEAN TEMPERATURE ANOMALY FOR SUBDIVISIONS

地域平均気温平年差の5日移動平均時系列

更新日：2016年7月11日

西日本、東日本太平洋側で梅雨入り





# 今年は何夏？ 猛暑（暑夏）？

6月25日 日本農業新聞

## 夏「長〜い」 残暑厳しく

3カ月予報

気象庁が24日に発表し、7月からの9月までの3カ月予報によると、全国的に高温の傾向となる見込みが示されています。特に、夏の間に「関東地方の熱中症や、

## ラニーニャ発生が 熱中症に「要警戒」

発生する恐れがある酷暑、高温障害など作物の管理からオホシロシ海高気圧をもたらすラニーニャ現象に注意が必要（気候情報）が振り出すことで一時的に気温が平年より高く、北海道・東北では気温が平年より高くなる見込みです。

ラニーニャ現象発生の影響で、太平洋高気圧が強まると平年より北に列島を広く覆う。また、インド洋では海面水温が高いため乱雲が多く発生。上昇気流が起きてチベット、太平洋高気圧と上空で高気圧を北に押し上げ、太平洋高気圧と上空で重なり合うことで、西日本を中心に気温が高く、甚大な水害となった。

## ラニーニャ発生

## 今から暑さ対策万全に

今夏は年よりの暑さの恐れに、より4人とも通気設備が不足している。ラニーニャ現象も発生し、全国的に高温の傾向となる見込みが示されています。特に、夏の間に「関東地方の熱中症や、北海道・東北では気温が平年より高くなる見込みです。

6月6日 日本農業新聞

## 今夏暑く

## 専門家の見方は

気象庁は、今夏（6〜8月）は暑さをさらさらと、全国的に高温の傾向となる見込みが示されています。特に、夏の間に「関東地方の熱中症や、北海道・東北では気温が平年より高くなる見込みです。

## 北日本冷夏の恐れも

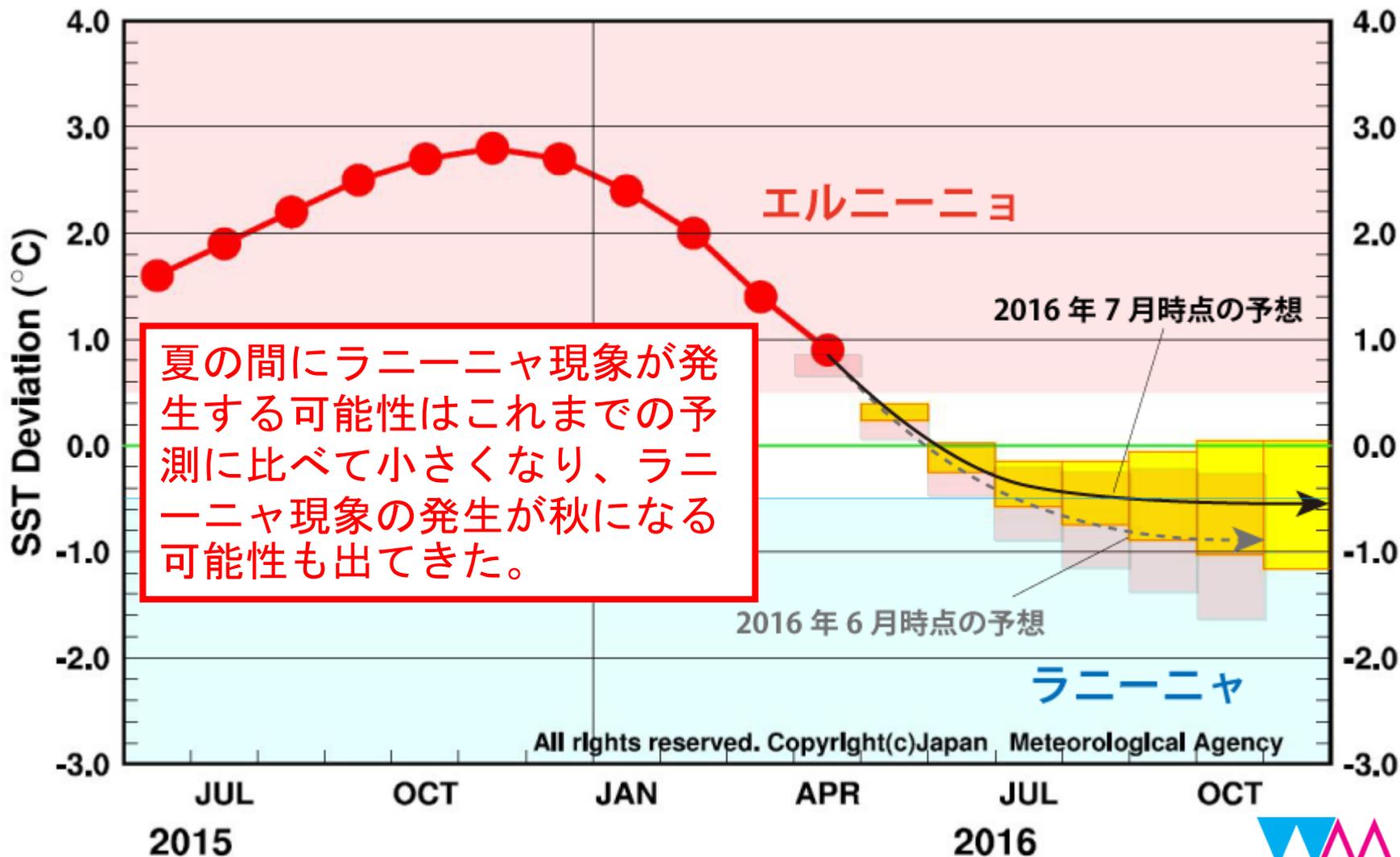
気象庁は、今夏（6〜8月）は暑さをさらさらと、全国的に高温の傾向となる見込みが示されています。特に、夏の間に「関東地方の熱中症や、北海道・東北では気温が平年より高くなる見込みです。

6月2日 日本農業新聞

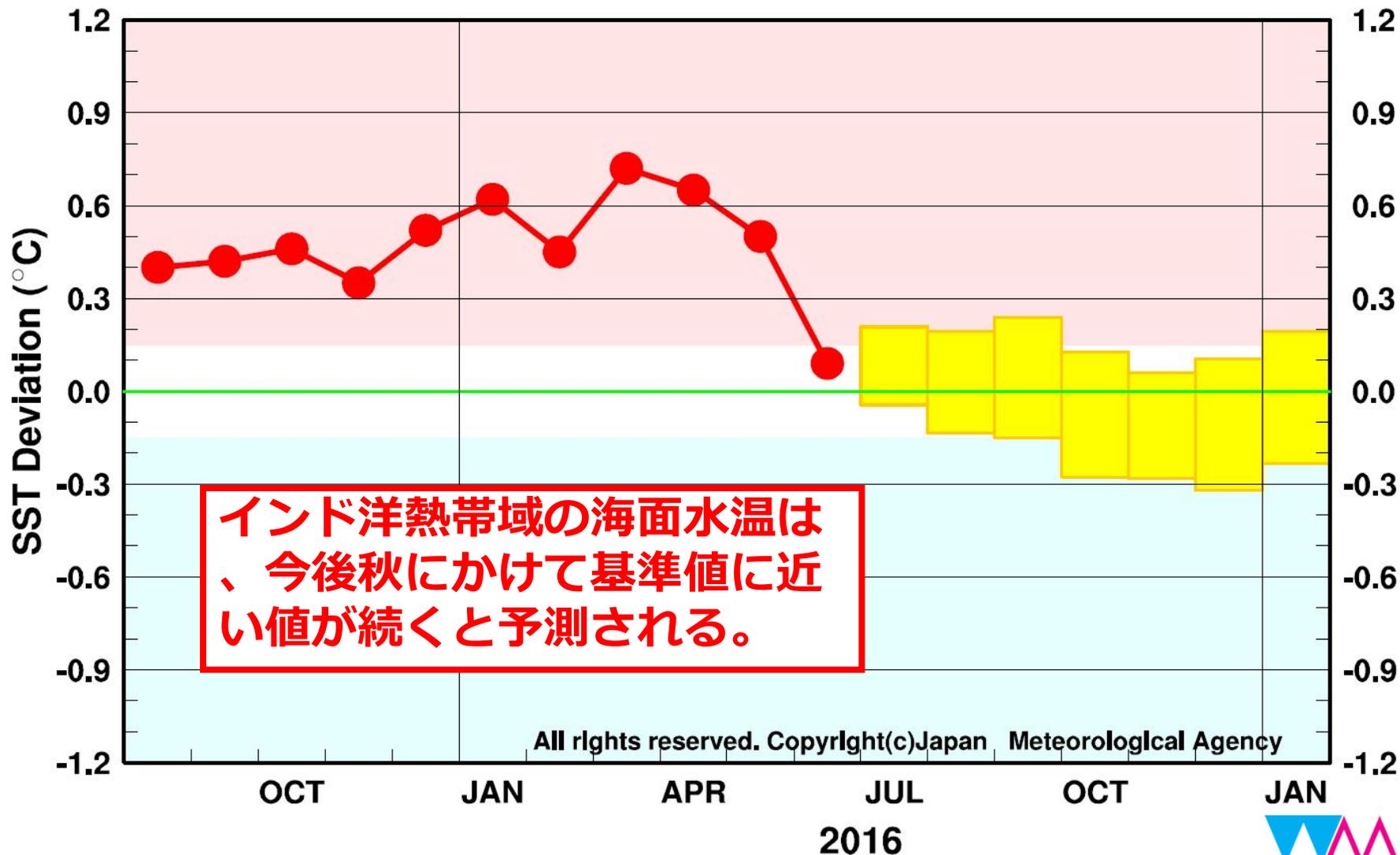




# エルニーニョ／ラニーニャ現象の経過と予測



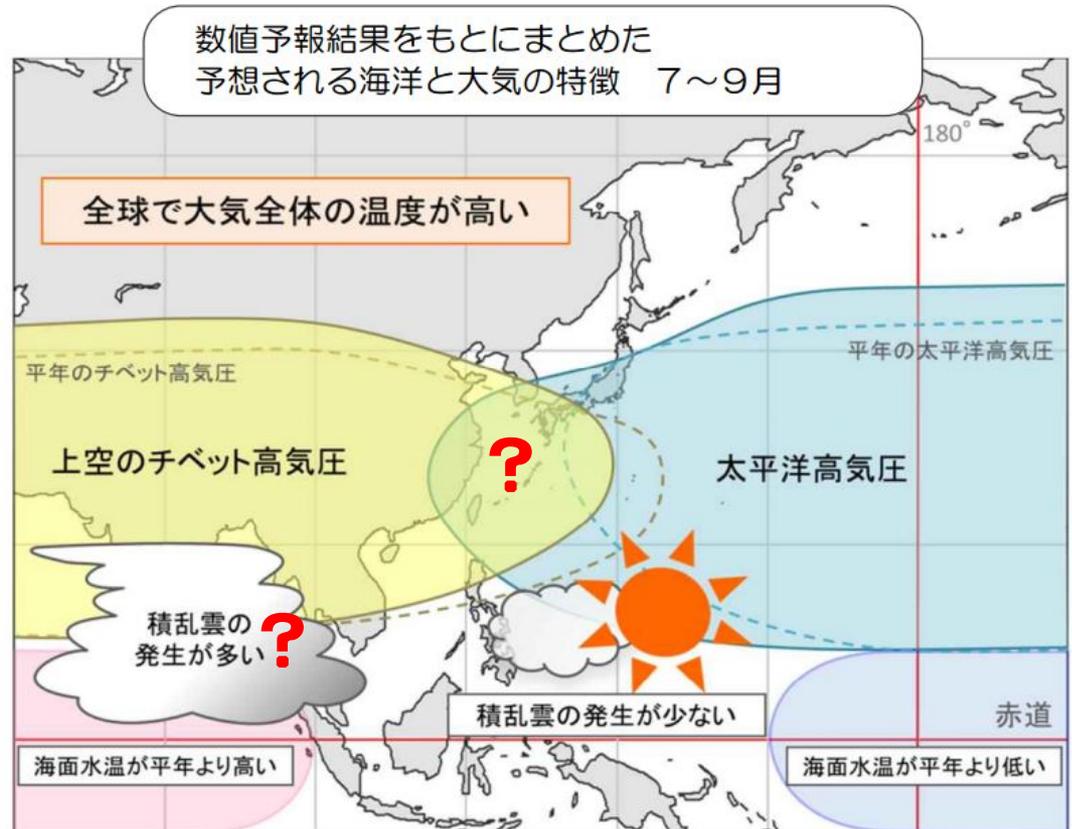
# インド洋熱帯域海面水温の経過と予測



# 海洋と大気の特徴 (7~9月)

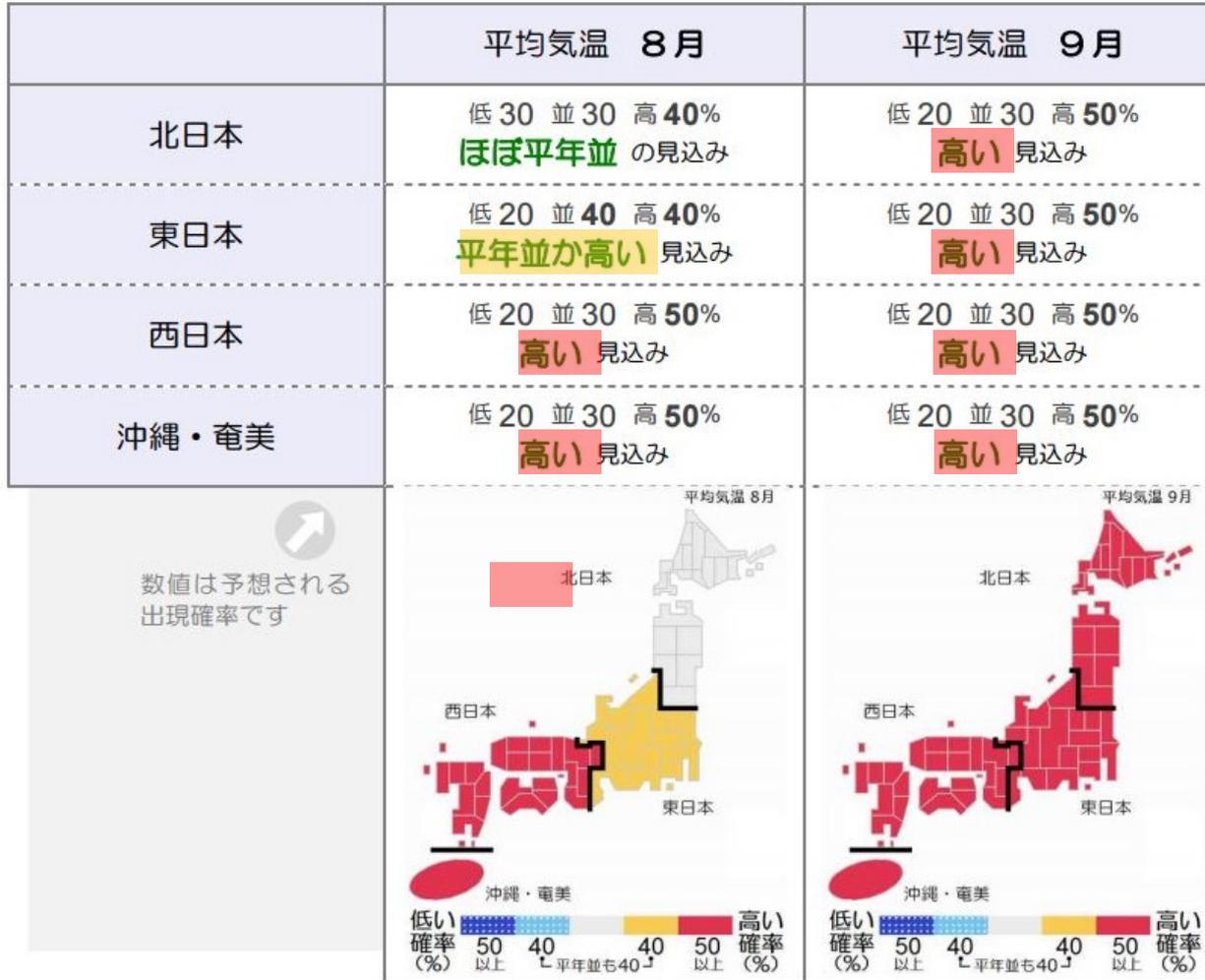
## 予想される海洋と大気の特徴

- 全球で大気全体の温度が高いでしょう。
- インド洋では海面水温が高い状態が続き、積乱雲の発生が多いでしょう。一方、フィリピン付近では期間の前半は積乱雲の発生が少ないでしょう。
- このため、太平洋高気圧は西への張り出しが強くなり、沖縄・奄美や西日本では平年に比べ太平洋高気圧に覆われやすいでしょう。期間の前半は北への張り出しは弱い見込みですが、夏に発生する可能性が高いラニーニャ現象の影響で、北への張り出しが次第に強まるでしょう。また、チベット高気圧は北への張り出しが強くなり、西日本を中心に平年に比べチベット高気圧に覆われやすい見込みです。





# 8~9月の予報（平均気温）



9月の高温は北日本を中心に下方修正される可能性も。

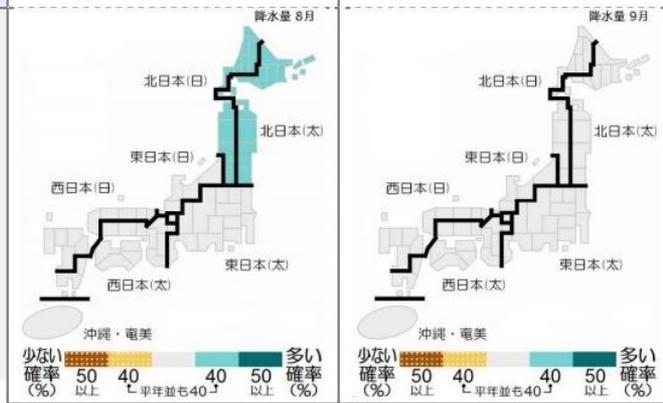


# 8~9月の予報 (降水量)

		降水量 8月	降水量 9月
北日本	日本海側	少 20 並 40 多 40% 平年並か多い 見込み	少 30 並 30 多 40% ほぼ平年並 の見込み
	太平洋側	少 20 並 40 多 40% 平年並か多い 見込み	少 30 並 30 多 40% ほぼ平年並 の見込み
東日本	日本海側	少 30 並 30 多 40% ほぼ平年並 の見込み	少 30 並 40 多 30% ほぼ平年並 の見込み
	太平洋側	少 30 並 40 多 30% ほぼ平年並 の見込み	少 40 並 30 多 30% ほぼ平年並 の見込み
西日本	日本海側	少 40 並 30 多 30% ほぼ平年並 の見込み	少 40 並 30 多 30% ほぼ平年並 の見込み
	太平洋側	少 40 並 30 多 30% ほぼ平年並 の見込み	少 40 並 30 多 30% ほぼ平年並 の見込み
沖縄・奄美		少 30 並 40 多 30% ほぼ平年並 の見込み	少 30 並 30 多 40% ほぼ平年並 の見込み

北日本（東北地方）では梅雨が長引く可能性もある。

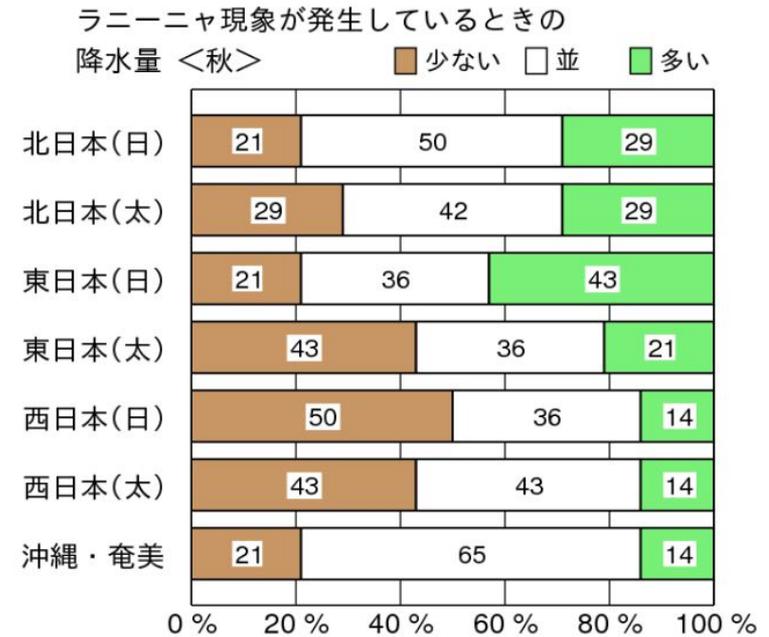
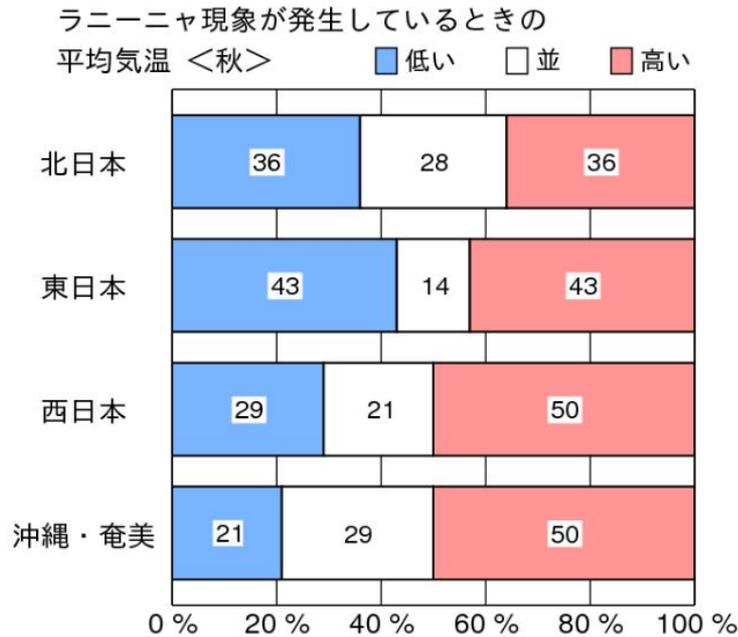
数値は予想される出現確率です





# ラニーニャ現象の時の日本の秋（9～11月）の 天候

## 気温、降水量、日照時間に傾向なし

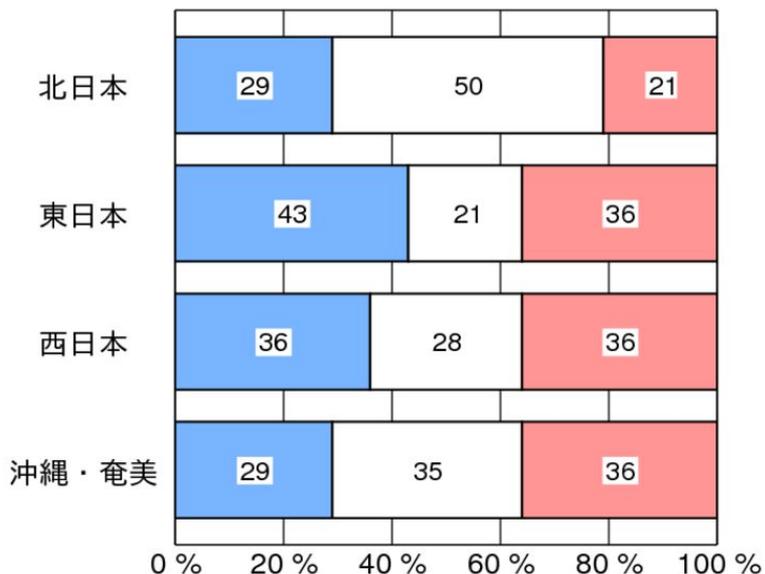




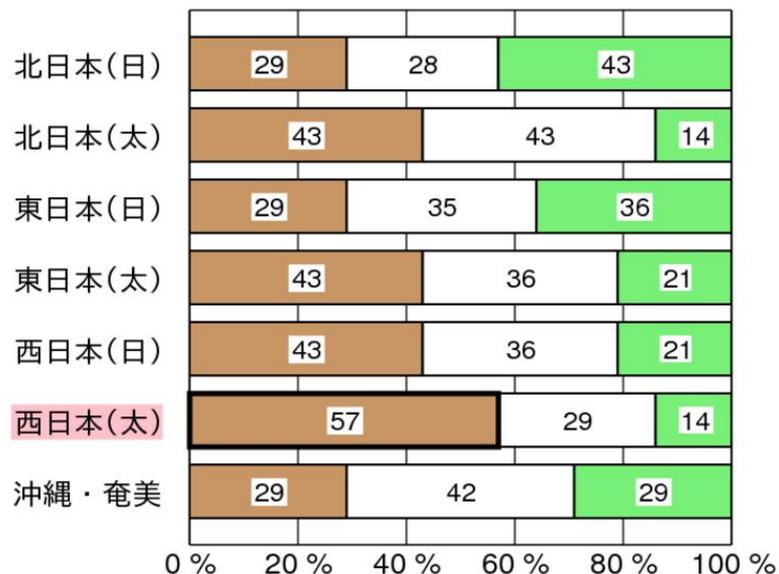
# 西太平洋高温時の日本の秋（9～11月）の天候

## 降水量は、西日本太平洋側で少ない傾向

西太平洋熱帯域の海面水温が高温のときの  
平均気温 <秋>      ■ 低い    □ 並    ■ 高い



西太平洋熱帯域の海面水温が高温のときの  
降水量 <秋>      ■ 少ない    □ 並    ■ 多い





# まとめ

## 【8~9月】

全国的に暖かい空気に覆われやすいでしょう。また、太平洋高気圧は西への張り出しが強いでしょう。このため、向こう2か月の気温は、東・西日本で高く、北日本では平年並か高い見込み。

北日本と東日本の日本海側では、前線や南からの湿った気流の影響で、向こう3か月の降水量は平年並か多い見込み。

※オホーツク海高気圧（北日本を中心に低温をもたらす）の発生に関しては今後の一か月予報や異常天候早期警戒情報などを要確認。

※秋の天候はラニーニャの状況にもよるが、概ね平年並みで推移したのち、後半は平年並みの寒さとなる可能性が高い。